

循環器検査適応早見表

項目	検査	CT	MRI	RI	心臓 超音波	頸動脈 超音波
診断に役立つ検査						
(注): 負荷シナ						
狭心症	冠動脈 CT	冠動脈 CT	心臓 MRI	心筋シナ		
心筋梗塞	冠動脈 CT	冠動脈 CT	心臓 MRI	心筋シナ (注)		
バイパス術後	冠動脈 CT	冠動脈 CT	心臓 MRI	心筋シナ		
弁膜症(術後)	-	-	-	-		
大動脈瘤・大動脈解離	大血管 CT	大血管 CT	大血管 MRI	-		
閉塞性動脈硬化症	血管 CT	血管 CT	血管 MRI	-		
肺動脈塞栓症	肺動脈 CT	肺動脈 CT	肺動脈 MRI	肺血流シナ		
静脈血栓症	静脈 CT	静脈 CT	静脈 MRI	-		

検査の限界と適応外						
禁忌: × 注意:						
不整脈【注1】	冠動脈 CT					
動脈硬化・石灰化(強)【注2】						
腎機能が高度に低下	造影剤 ×	造影剤				
造影剤アレルギー	×	×				
妊娠の可能性のある方	×	×				
体内に金属【注3】チタン除く		×				
喘息	造影剤	造影剤	負荷			
ペースメーカーなど		×				

画像診断

放射線科専門医が読影します

外来診察時間

診察時間(月~金) 午前: 8:30~12:00 午後: 13:30~15:30
診察時間(土) 午前: 8:30~12:00

相談・予約窓口

8:30~17:15

・検査予約時間(下記以外は予約不要です)

MRI検査 9:00~16:30

RI検査 8:30~15:00

地域医療連携室 086-225-7111(内線2153)

担当: 高松 山川 山下 西田

【注1】【注2】【注3】は裏面に説明があります

循環器検査適応早見表

【注1】

冠動脈 CT 検査では、鮮明な画像を撮るために撮影前にセロケンなどの心拍数を下げる薬を服用します。心電図にあわせて検査するため不整脈など脈拍が不安定な場合、撮影中に画像がぶれるため鮮明な撮影が難しい状態となります。

【注2】

動脈硬化や石灰化が強い場合、石灰化が白く映り内腔が見えなくなり、狭窄部などの診断が行えません。

【注3】

体内に金属がある場合（ステンレスなど）MRIの磁気により発熱する恐れがあります。また、刺青にも金属粉が含まれているため同じように発熱する恐れがあります。ただし、チタンは問題ありません